

日本気象学会1997年度春季大会における託児施設斡旋の報告

1. はじめに

去る5月21日(水)～23日(金)に茨城県つくば市において開催されました日本気象学会1997年度春季大会において、試行的に託児施設の斡旋・支援を行いました。その報告をします。

この目的は、気象学会会員の大会参加を奨励・促進するための一つの活動として、子育て中の会員にも十分に学会大会に参加することができるように託児施設を用意することでした。今回は、大会期間中の託児施設を準備し、大会実行委員会から資金的支援を頂くという形で試行しました。概要を以下に示します。

2. 実施状況

2.1 場所：

ほっとメリー託児ルーム

(民間の託児会社：会場より車15分)

2.2 実行委員会からの支援額：32,000円(託児経費の一部負担)

2.3 利用内容：

●会員A・子(1歳4か月)

申請：3日

実行：大会当日、子供が熱を出した。契約先の託児会社が基本的にベビーシッター派遣会社であったため、急きょ派遣に切替えた。時間は予定より若干短縮された。

●会員B・子(2歳0か月)

申請：1日

実行：申請通り。

3. まとめと感想

今回は、試行ということで、YMNETでの公募に限りませんでした(YMNETについては「天気」40巻482ページ参照)。YMNET上のアンケートに回答した会員は44名、利用の可能性があると回答を得た会員の子供の数は7名でした。また、37名の方が何らかの形で手伝い

の手を提供すると申し出て下さいました。今回の活動の中心となった「託児所設置有志」はこの37名を母体として考えています。

つくば大会における実際の利用人数は2名でしたが、会期中に別の機会には利用したいとの問い合わせを1件受け、今後利用が増える可能性はあるとの感触を得ました。次回以降に実施する場合には、学会会員への周知を図り、「天気」へのアナウンスをするべきだろうと考えています。

計画当初は、大会会場に託児設備を設けようという案でした。その後、実際に利用予定の会員からの希望と、人数が少ないという事情があり、近くで安心できる託児ルームを利用するという形態にしました。その主な理由は、会場での託児は年齢の小さい(1歳児以下)子供には水回り等の設備が十分でないということでした。結果として、会場での託児に比べて、安全対策等をこちらで考える必要がなく、有志会員の負担が少なかったこと、託児が外で行われているため、大会に集中できたこと等の長所も付随していたと思います。

会員Aの利用形態は、子供の発熱のために急きょ派遣への変更を会員自身で行いました。これは、今回の託児契約が、もともと子供1対保育者1という契約であったことと、基本的にベビーシッター派遣会社であったことで対応可能でした。このような利用形態の変更は、今後必ずしも可能でないと考えられますが、子供はとにかく発熱等の予定外の状況を起こしやすいため、できるならば、最初から変更の可能性も考慮した計画を立てるのが望ましいでしょう。

費用については、通常の保育園に支払う経費が(つくばの場合)ひと月57,000円程度です。ですから、感触としては、自己負担が3日間で10,000円～15,000円程度で済む位まで援助いただけるならば、ありがたく利用する会員があるのではないかと思います。なお、今回は自己負担額1日当たり5,600円(3日で16,800円)に設定して大会実行委員会に補助を申請しました。

実際に預けてみた感想(会員B)：日常の保育園でな

いところで託児する不安が非常にありましたが、子供はよく適応してくれて安心しました。親は大会参加に集中することができ、非常に助かりました。遠隔地の大会で安心できる託児施設を探すのは、とても困難なことなので、今後共、ぜひ各大会において託児施設の斡旋をしていただきたいと思います。

4. 気象学会託児所関係メーリングリストの紹介

入会方法：daycare-request@geog.metro-u.ac.jp
宛に '#join' を本文として、e-mail を送ってください。

謝 辞

本件を実行するにあたっては、実際に託児設備の相談にのって下さった筑波大学の田中博先生を始め、大

変ご理解下さり応援して下さいました日本気象学会1997年度春季大会実行委員会の皆様には感謝いたします。また、ネットワークを通じての情報収集のために託児所のメーリングリストを立ち上げて下さった東京都立大学の石黒直子さん、松山洋さん、および増田耕一さんには大変お世話になりました。また、気象学会の試行に先立つ3月に天文学会において保育室設置を実施された慶応大学の加藤万理子さんにも大変有用な情報を提供していただきました。今回は YMNET を通じて情報収集させていただきました。アンケート等を通じて応援下さった大勢の方々にもお礼申し上げます。

気象学会大会における託児所設置有志
(国立環境研究所 高藪 縁)

日本気象学会誌 気 象 集 誌

第II輯 第75巻 第3号 1997年6月

- 堀之内武・余田成男：熱帯に局在した非定常な加熱により励起される波動の
中層大気への伝播と作用：QBOの2局面間の比較641-656
- 可知美佐子・新田 勅：全球大気—海洋システムにおける十年規模変動657-675
- 高田久美子・野田 彰：CO₂による気候変化に対する熱帯での積雲対流の効果677-686
- 直江寛明・松田佳久・中村 尚：理想のおよび現実的な東西非一様流における
ロスビー波の伝播687-700
- Jian-Ping Huang・Kaz Higuchi・Neil B. A. Trivett：
多重解像度フーリエ解析と北極アラートにおけるCO₂濃度変動の解析への適用 ...701-715
- 杉 正人・川村隆一・佐藤信夫：気象庁全球モデルを用いた数値実験による海面水温変動
によって強制されて起きる大気変動と季節平均場の予測可能性に関する研究717-736
- 児玉安正：1993年夏季のヤマセ気流の気団変質737-751

要報と質疑

- 岡田菊夫・伍 培明・田中豊頭・堀田 貢：電子顕微鏡観察用の成層圏
エアロゾル粒子採集のための気球搭載型軽量サンプラー753-760
- 学会誌「天気」の論文・解説リスト（1997年3月号・4月号）761